



# 被災地のアスベスト問題<sup>石綿</sup>を 考える集い in 気仙沼

3・11 東日本大震災から1年6か月が経ちました。気仙沼市では地震・津波の被害により約339万トン（推計量）の災害廃棄物が発生。8月末現在で22か所の仮置き場に98%が搬入され、204万トン（62.0%）が再利用として処理されています。

アスベストは発がん物質です。アスベストを吸うと30年～40年の潜伏期間を経て、中皮腫や肺がんなどの健康障害を発生させるおそれがあります。がれきや建物などの災害廃棄物にはアスベストが含まれています。がれきや建物の解体・撤去、処理のときにアスベストが飛散し、

労働者やボランティア、住民が気づかぬうちにアスベストを吸い込む危険性があります。

今年8月、阪神淡路大震災時がれきの処理作業に2か月間従事した労働者が中皮腫を発症し、労災認定されています。今後、気仙沼市でアスベストによる環境汚染や健康被害を防止するためにどのような取り組みが求められるか、共に考え、行動していきたいと思えます。

ぜひ、被災地のアスベスト問題を考える集い in 気仙沼にご参加ください。

期日

**9月29日(土)**

開場 13:00 開始 13:30 終了 16:00

会場

**気仙沼市地域交流センター・メインアリーナ**

気仙沼市役所ワンテン庁舎内 ~~電話 0326-22-0000(気仙沼市教育委員会)~~

参加費

**無料**

## <第1部 シンポジウム>

- 講演「アスベストによる健康障害について」  
毛利 一平  
(三重大学医学部公衆衛生・産業分野副所長・医師)
- 報告「気仙沼市のアスベスト調査報告と対策提言」  
外山 尚紀  
(東京労働安全衛生センター・労働衛生コンサルタント)

- 特別報告「阪神淡路大震災時のがれき処理によるアスベスト被害」  
西山 和宏  
(NPO法人ひょうご労働安全衛生センター事務局長)
- 質疑・討論

## <第2部 体験ワークショップ>

- チェックしよう! がれきの中のアスベストの見分け方

○着けてみませんか? アスベストから身を守る防じんマスクの着け方

<会場展示> 13:00～16:00

地震とアスベストから身を守るための学習パネルの展示  
アスベストから身を守る防じんマスクの展示  
建材に含まれるアスベスト

<アスベスト何でも電話相談>

10:00～17:00

電話番号 **090-2540-4887**

会場にも相談コーナーを設けています。  
お気軽にご相談下さい。

<主催>

特定非営利活動法人  
**東京労働安全衛生センター**  
東京都江東区亀戸7-10-1 Zビル 5F  
TEL 03-3683-9765 FAX 03-3683-9766  
center@toshc.org http://www.toshc.org

<協力> 生活協同組合 **あいコープみやぎ**

※この催しは独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて開催します。